

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

8月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 17件（前月比4.3、前年比0.3）でした。本年の1月をピークとして7月までは連続して減少していましたが、8月は低い値で増加に転じています。例年なみの推移のようです。

### 小児科定点

（全体傾向）

3,416件（前月比1.01、前年比0.78）でした。感染性胃腸炎990件（前月比0.8、前年比0.9）、手足口病620件（前月比0.6、前年比0.6）、RSウイルス感染症557件（前月比5.3、前年比1.1）、ヘルパンギーナ468件（前月比1.7、前年比0.6）が大きく占めています。RSウイルス感染症が大きく増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 557件（前月比5.3、前年比1.1）。6月が最低値でしたが、7月から増加に転じています。8月は前月比5.3と大きく増加しました。昨シーズンは9月がピークとなりました。本年度も昨年と同様に推移しており、9月がピークになる可能性が高いと推測されます。今後の発生動向に注意が必要です。
2. 咽頭結膜熱 : 55件（前月比1.2、前年比0.3）でした。7月から大きな変化はありません。前年比は0.3と減少しています。昨年よりは低い値で推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 239件（前月比1.0、前年比1.1）でした。前月比、前年比ともに大きな変動はありません。例年並で推移しているようです。
4. 感染性胃腸炎 : 990件（前月比0.8、前年比0.9）でした。5月をピークとして以後は連続して減少しています。菊池41.6、有明33.6が高くなっています。
5. 水痘 : 35件（前月比1.3、前年比0.6）でした。前年比は0.6と減少しており、6月からは連続して昨年より低い値で推移しています。
6. 手足口病 : 620件（前月比0.6、前年比0.6）でした。6月をピークとして、以後は連続して減少しています。昨年よりは低い値で推移しています。八代40.3が高くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 5件（前月比0.7、前年比1.0）でした。低い値で推移しています。
8. 突発性発疹 : 146件（前月比1.0、前年比1.1）でした。大きな変動はなく推移しています。
9. ヘルパンギーナ : 468件（前月比1.7、前年比0.6）でした。2月から連続して増加しています。例年は秋から発生数は減少するため、今後は減少に転じる可能性が高いと推測します。天草22.5、有明17.4、菊池13.0が高くなっています。
10. 流行性耳下腺炎 : 26件（前月比1.1、前年比0.3）でした。前年比は0.3であり、昨年より大きく減少しています。過去3年間で最も低い値で推移しています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 109 件(前月比 1.4、前年同月 1.5)と増加しています。熊本 96 件、菊池 3 件、八代 1 件、有明 9 件の報告です。1 歳から高齢者まで全年齢層で発症していますが、30~59 歳代にピークがあります。乳幼児層における感染拡大の危険性がありますので注意が必要と考えます。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

### 1. 性器クラミジア感染症 :

報告数 62 件(前月比 1.4、前年同月比 1.1)で、前月比、前年比とも増加しています。男女別は、男性に 36 件と多く見られました。年齢別は、男性は 20~24 歳に 10 件と多く見られ、女性は 20~34 歳に 23 件と多く見られています。地区別は、熊本が 46 件と多く、次いで御船 6 件、八代 3 件、菊池、有明、宇城に各 2 件、人吉に 1 件でした。

### 2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :

報告数 31 件(前月比 0.9、前年同月比 1.9)で前月比はやや減少、前年比では増加しています。男女別は、男性に 16 件とやや多く見られました。年齢別は、男性は 20~64 歳、女性も 15~70 歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が 18 件と多く、次いで八代 7 件、菊池 3 件、宇城 2 件、有明 1 件でした。

### 3. 尖圭コンジローマ :

報告数 10 件(前月比 0.7、前年同月比 0.6)で、前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に 9 件と圧倒的に多く見られました。年齢別は、男性の 25~29 歳、35~39 歳に各 3 件と多く見られ、女性は 55~59 歳に見られています。地区別は、熊本 8 件と多く、次いで御船、宇城に各 1 件でした。

### 4. 淋菌感染症 :

報告数 16 件(前月比 1.1、前年同月比 0.8)で、前月比ではやや増加、前年比ではやや減少しています。男女別は、すべて男性でした。年齢別は、15~69 歳と幅広く見られています。地区別は、熊本 14 件と圧倒的に多く、次いで八代、有明各 1 件でした。

## 基幹定点

(月報分)

### 1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :

報告数 15 件(前月比 0.8、前年同月比 0.8)でした。12 件(80%)が 70 歳以上でした。乳幼児の報告はありません。有明が定点あたり 3.0、八代、阿蘇、菊池が定点あたり 2.0 と多くなっています。

### 2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :

報告数 5 件(前月比 0.6、前年同月比 2.5)でした。前月と異なり乳幼児で報告があり、0 歳に 1 件、5-9 歳に 1 件と報告がありました。

### 3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :

報告数 0 件(前月 +0、前年同月 +0)でした。

(週報分)

### 1. 細菌性髄膜炎 :

報告数 0 件(前月 +0、前年同月 +0)でした。

### 2. 無菌性髄膜炎 :

報告数 6 件(前月比 3.0、前年同月比 0.8)でした。全例熊本からです。乳幼児では 5-9 歳が 1 件です。例年夏に増加しますが、ここ 3 年では少ない報告で推移しています。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数3件（前月比 0.4、前年同月比 0.6）でした。前月同様、熊本が3件と多く見られます。年齢は10-19歳が3件でした。前月は増加しましたが、継続的な増加は見られません。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月 +0、前年同月 +0）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数1件（前月比 1.0、前年同月比 1.0）でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症	： ありませんでした。	
2類感染症	： 結核	23件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： デング熱	1件
	レジオネラ症	3件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	5件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	8件
	百日咳	2件
	風しん	1件